

凡例

一、本「移点資料篇」は、坂東本「教行信証」の調査によって判明した角点を、移点資料（調書）に基づいて、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念『顯浄土眞實教行證文類』翻刻篇（大谷大学編 眞宗大谷派宗務所発行 二〇二二・一二）の当該箇所緑色で移点したものである。

一、角点については、移点資料（調書）に基づき、そのまま移点することを旨としたが、活字本への移点であるため、細かな位置については若干の異なりが生じた場合が存する。詳細については、「影印篇」をも参照されたい。

一、本「移点資料篇」は、以下の者が作成に関わった。

1 角点の存在の確認については、赤尾栄慶（京都国立博物館上席研究員）・宇都宮啓吾（大阪大谷大学教授）が行ない、二人の合議のもと、角点として付された（もしくは、人為的に付された）と認められたものを宇都宮が移点し、調書を作成した。

2 調書から宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念『顯浄土眞實教行證文類』翻刻篇の当該箇所への移点については、宇都宮が担当した。

諦聽ケト上巳憬興師云今日世尊住

奇特法依テ神通輪ニ所ニ現シテ之相ナリ非ス唯異ナルノミニ常亦無シキ等者ト故今日世雄

住佛所住住テ普等三昧ニ能ク制スルカ衆魔雄健天ヲ故今日世眼住

導師行五眼ヲ名ニ導師ヲ行ト引ニ導衆生ヲ無過上故今日世英ヤウ住最

勝道佛住ニ四智ニ獨リ今日天尊行如來德佛性不空ノ義ヲ以ニ

即第一義天ナリ以ニ阿難當知如來正覺即奇キ特ト

慧見無礙述ニ最勝無能ト遏ト絕ト之即德ナリ如來ノ

①「遏」…右下に塗抹あり。

上已爾者則此顯眞實教明證也
誠是如來興世之正說奇特最勝之妙典
一乘究竟之極說速疾圓融之金言
十方稱讚之誠言時機純熟之眞
教也應知

顯淨土眞實教文類一

①此「是」此

第十七願

亦可名往相廻向之願亦可名選擇稱
名之願也諸佛稱名願大經言設我得
佛十方世界無量諸佛不悉咨嗟稱我
名者不取正覺上已又言我至成佛道
聲超十方究竟靡所聞誓不成正
覺爲衆開寶藏廣施功德寶常
於大衆中說法師子吼願成

①取↓補

就文經言十方恒砂諸佛如來皆共
讚嘆無量壽佛威神功德不可思
議上已又言無量壽佛威神無極十
方世界無量無邊不可思議諸佛如
來莫不稱嘆於彼上已又言其佛本
願力聞名欲往生皆悉到彼國自致不
退轉上已無量壽如來會言今對

①返「三」↓「三」↓補
②返「一」↓「二」↓補
③右元の訓を改める。↓補
④「願」…元の字を抹消して記す。

如來發弘誓當證無上菩提因若不
滿足諸上願不取十力無等尊心
或不堪常行施廣濟貧窮免諸
苦利益世間使安樂至乃最勝丈夫修
行已於彼貧窮爲伏藏圓滿善法
無等倫於大衆中師子吼又
言阿難以此義利故無量無數不可

①「修」↓補